

2022年2月10日

各位

会社名 Retty株式会社
代表者名 代表取締役社長 武田 和也
(コード：7356 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員コーポレート部門担当
土谷 祐三郎
(TEL. 03-6852-1287)

資本性劣後ローンによる資金調達及び当座貸越契約（増額変更）の締結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会にて、株式会社商工組合中央金庫から資本性劣後ローンによる3億円の資金調達及び株式会社みずほ銀行との当座貸越契約を1億円増額することを決議致しましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 本資金調達及び契約変更の目的・意義

当社は2021年9月期通期決算発表にて開示している通り、当期において開発体制及び営業人員の強化へ約4.7億円の成長投資を行う予定です。これは現在の様なCOVID-19影響下においても今後の中長期的な売上最大化に向けて大きく成長していく為に必要な投資と考えております。

当社においては2021年9月期末時点において現預金約6.3億円に加えて、既存金融機関からの借入枠も約7.7億円確保しており、事業を継続する上で十分な財務健全性を担保しております。その上で、上述成長投資による中長期での成長を最大化する為、今回の資本性劣後ローンによる借入及び当座貸越契約の増額を通じて財務基盤をより強固にすることを目的としております。

2. 借入及び契約変更の内容

①資本性劣後ローン

(1) 借入先	株式会社商工組合中央金庫
(2) 借入金額	3億円
(3) 借入実行日	2022年2月28日（予定）
(4) 借入期間	5年1か月間
(5) 担保等の有無	無担保・無保証

②当座貸越契約の変更

(1) 借入先	株式会社みずほ銀行
(2) 契約極度額	(変更前) 3億円 (変更後) 4億円
(3) 契約締結日	2022年2月28日（予定）

(4) 契約期間	1年間
(5) 担保等の有無	無担保・無保証

3. 資本性劣後ローンの特徴

今回の資本性劣後ローンによる債務については金融機関の資産査定上、自己資本とみなすことができ、実質的に資本増強効果が得られ、財務の健全性を示す指標を高めることが可能となります。

4. 今後の見通し

本件による 2022年9月期の業績に与える影響は軽微であります。

以上